

スポーツ山形



(財)山形県体育協会



2011 おいでませ!山口国体

準優勝
バスケットボール少年女子

大会夏・秋季大会

準優勝

- ◇ライフル射撃
成年男子センターファイアピストル (30発)
奈良崎隆一 (県警察)
- ◇バスケットボール
少年女子
山形選抜
- ◇陸上
少年女子共通円盤投げ
矢作 莉奈 (楯岡高)
- ◇カヌースプリント
少年男子カヤックペア500m
谷地高 (荒木琢磨、白田駿)
少年男子カヤックペア200m
谷地高 (荒木琢磨、白田駿)
少年女子カヤックペア200m
谷地高 (佐藤藍、安達楓香)

3位

- ◇水泳
競泳少年男子B100m平泳ぎ
大久保琳太郎 (米沢四中)
- ◇ライフル射撃
成年男子10mエアライフル立射 (60発、決勝10発)
阿部 洋 (明大・南陽高出)
- ◇レスリング
成年グレコローマンスタイル84kg級
鶴巻 宰 (自衛隊体育学校・米沢工高出)
- ◇陸上
少年男子共通走り高跳び
村岡 健也 (楯岡高)
少年男子Aやり投げ
宮田 涼 (山形中央高)
- ◇ボクシング
成年男子ライトウェルター級
高橋 諒 (拓大・酒田工高出)
- ◇カヌースプリント
少年女子カヤックペア500m
谷地高 (佐藤藍、安達楓香)

4位

- ◇陸上
少年女子A3,000m
木村芙有加 (山形城北高)

5位

- ◇水泳
競泳少年女子B100m背泳ぎ
西脇 怜奈 (鶴岡一中)
- ◇バスケットボール
成年男子
県選抜
成年女子
県選抜
- ◇レスリング
成年グレコローマンスタイル55kg級
尾形 翼 (ALSOK・山形商高出)
- ◇セーリング
少年女子シーホッパー級スモールリグ
阿部 七海 (酒田西高)



競泳少年男子B100m平泳ぎ
大久保琳太郎 (米沢四中)

レスリング成年
グレコローマンスタイル84kg級
鶴巻 宰 (自衛隊体育学校・米沢工高出)



カヌースプリント200m少年男子カヤックペア
荒木 琢磨(左)・白田 駿組(谷地高)



カヌースプリント200m少年女子カヤックペア
安達 楓香(左)・佐藤 藍組(谷地高)

スポーツ山形の飛躍に向けて

本国歌総監督 佐藤 通隆



今年1年、選手強化や予選会の運営にご尽力いただいた皆さんに心より謝意を表します。

本国歌が10月1日から山口県を中心に開催され、11日に閉幕した。冬季国体と合わせた本県の総合成績は、42位という大変厳しい結果であった。総合成績が40位台というのは30年前の第36回びわこ国体以来のことである。

本県勢の戦いの内容を見ると、団体競技の多くが、善戦はしたものの、もう一つ勝てば入賞というベスト16段階で敗退したことがあげられる。東北予選を勝ち抜き、昨年を上回る団体競技が国体に出場したが入賞に結びつけることができなかったことは、全国を勝ち抜く確かな力が不足していたと言わざるを得ない。

しかし、昨年より選手層が薄い状況で、今年も100点を超す高得点を獲得したカヌー競技や、東京、大阪などの強豪チームを撃破し、準優勝に輝いたバスケットボール少年女子の、「最後まであきらめない」チームの真剣ではつらつとした粘り強い戦いは、観客をも感動の渦に巻き込むなど、山形の素晴らしさも随所に発揮された。陸上競技少年女子3,000m木村選手、然りである。

我々スポーツ関係者すべてが、今回の結果を真摯に受け止め、それぞれの機関・団体が、再興計画を立て、スポーツ山形の飛躍に向けて、誇りと希望を持って進もうではありませんか。



陸上少年女子共通円盤投げ
矢作 莉奈 (楯岡高)

おいでませ!山口国体 第66回国民体育

天皇杯・皇后杯総合得点一覧表

■夏・秋季入賞者 35

順位	都道府県名	男女総合 (天皇杯)	順位	都道府県名	女子総合 (皇后杯)
1	山口	2,220.5	1	山口	1,089.5
2	東京	2,053.5	2	東京	976.5
3	愛知	1,953.33	3	岐阜	958.5
4	岐阜	1,669	4	大阪	924
5	大阪	1,633	5	愛知	846.5
6	神奈川	1,628.83	6	千葉	830.5
7	千葉	1,612.5	7	北海道	752.5
8	埼玉	1,546.5	8	神奈川	741
9	広島	1,460.5	9	兵庫	715
10	北海道	1,392.5	10	福岡	698
11	兵庫	1,341.5	11	埼玉	675.5
11	福岡	1,341.5	12	広島	646
13	京都	1,299.5	13	岡山	635
14	岡山	1,272	14	京都	589
15	長崎	1,055.5	15	静岡	563.5
16	山梨	1,012	16	大分	540.5
17	長野	983.5	17	愛媛	540
18	熊本	972.5	18	長崎	532
19	秋田	971	19	山梨	531
20	宮城	962.5	20	石川	511
21	群馬	961	21	長野	507.5
22	静岡	959	22	栃木	498
23	佐賀	957.5	23	福井	496
24	大分	953.5	24	宮城	494.5
25	愛媛	939.5	25	群馬	492.5
26	香川	925	26	熊本	483.5
27	栃木	920	27	秋田	476
28	宮崎	919	28	新潟	471.5
29	青森	913.5	29	滋賀	469
30	福井	891	30	富山	466.5
31	石川	877	31	佐賀	465.5
32	三重	858.5	32	青森	440
33	新潟	843.5	33	山形	434.5
34	滋賀	825	34	鹿児島	432.5
35	奈良	815.5	35	香川	431.5
36	茨城	802	36	宮崎	413
37	富山	798.83	37	茨城	410
38	鹿児島	777.5	38	奈良	408.5
39	沖縄	760.5	39	岩手	390
40	福島	727	40	福島	387
41	岩手	715	41	鳥取	380
42	山形	713	42	沖縄	376
43	和歌山	670	43	高知	361.5
44	鳥取	628	44	三重	359
45	島根	579.5	45	和歌山	354
46	高知	536.5	46	島根	340.5
47	徳島	525	47	徳島	321
合計		50,172.99	合計		25,855

◇カヌースプリント

少年男子カナディアンシングル200m 石川 駿 (谷地高)
少年女子カヤックシングル200m 早坂 枝里 (谷地高)

◇ボクシング

成年男子バンタム級 林 国孝 (拓大・日大山形高出)

◇重量挙げ

成年69kg級ジャーク 三田村和真 (イサワ工業)
成年69kg級トータル 三田村和真 (イサワ工業)

◇相撲

成年個人 小野寺貴史 (藤島中講)

6 位

◇水泳

競泳少年女子B100m自由形 長谷川 鼓 (鶴岡三中)
競泳少年男子B400mメドレーリレー
県選抜 (佐々木友=日大山形高、大久保琳太郎=米沢四中、
渡会舜=酒田工高、奥山翔太=日大山形高)

◇カヌースプリント

少年男子カナディアンシングル500m 石川 駿 (谷地高)

7 位

◇水泳

競泳成年男子200m個人メドレー 庄司 有太 (山形ドルフィンクラブ)

◇陸上

少年女子A走り幅跳び 青木 成美 (山形西高)

◇カヌースプリント

少年男子カヤックシングル200m 小林 拓也 (谷地高)

8 位

◇水泳

競泳成年女子100mバタフライ 渡辺 耶唯
(神奈川大・日大山形高出)

◇重量挙げ

少年53kg級ジャーク 氏川 智博 (酒田北高)
成年69kg級スナッチ 三田村和真 (イサワ工業)
少年77kg級トータル 五十嵐智一 (庄内総合高)

◇陸上

成年男子100m 安孫子充裕
(チームミズノ・上山明新館高出)

◇銃剣道

成年男子団体 神町自衛隊
(日向亮介、山口創、富樫貴臣)



ボクシング
成年ライトウエルター級
高橋 諒 (右)
(拓大・酒田工高出)



陸上少年男子共通走り高跳び
村岡 健也 (楯岡高)



陸上少年男子Aやり投げ
宮田 涼 (山形中央高)

山形県体育協会表彰

—平成22年度功績—
(平成23年5月31日表彰式実施)

殊 勲 賞

種 目	氏 名	所 属	主 な 成 績	
(中学生)				
新 体 操	佐々木真子	山形市立第六中学校 3年	2010 アジアジュニア新体操選手権大会 女子団体総合 団体種目別 リボン・フープ 1位	優 勝
(高校生)				
ス ピ ー ド ス ケ ー ト	小田 卓朗	県立山形中央高校 3年	SBC杯第17回全日本スピードスケート距離別選手権 大会 男子1500m 平成22年度全国高等学校総合体育大会 スケート 競技 男子1000m (大会新記録)	優 勝
ス キ ー	深瀬 和志	私立日本大学山形高校 2年	JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアスピード スケート選手権大会 総合優勝 1500m・3000m 1位 平成22年度全国高等学校総合体育大会 スキー競技 男子回転	優 勝
	尾崎 光輔	県立北村山高校 3年	平成22年度全国高等学校総合体育大会 スキー競技 クロスカントリー男子10kmクラシカル	優 勝
	安彦のぞみ	県立新庄北高校 3年	平成22年度全国高等学校総合体育大会 スキー競技 クロスカントリー女子10kmフリー	優 勝
	山形県立新庄北高等学校 女子スキー クロスカントリー部 (安彦のぞみ、有路杏子、三浦友維)		平成22年度全国高等学校総合体育大会 スキー競技 クロスカントリー女子リレー	優 勝
カ ノ ー	宇野 寛子	県立谷地高校 3年	第6回日本カヌースプリントジュニア・ジュニア ユース小松大会 女子カヤックペア 1000m	優 勝
	田宮つぐみ	県立谷地高校 3年	第6回日本カヌースプリントジュニア・ジュニア ユース小松大会 女子カヤックペア 1000m	優 勝
	押野 愛香	県立谷地高校 3年	ジュニア国際レガッタ 女子カヤックペア 200m	7 位
	山形県立谷地高等学校 女子カヌー部 (宇野寛子、田宮つぐみ、宇野小春、早坂茜音)		第6回日本カヌースプリントジュニア・ジュニア ユース小松大会 女子カヤックフォア 500m	優 勝
(大学生)				
セーリング	寒河江聡志	関東学院大学 4年	第2回アジアビーチゲームズ セーリング競技 ウィンドサーフィン テクノ293MEN	4 位
ホ ッ ケ ー	今野華瑠香	東海学院大学 3年	第32回全日本学生ホッケー選手権大会	優 勝
新 体 操	三澤 樹知	東京女子体育大学 3年	第62回全日本学生新体操選手権大会 女子個人総合 種目別 ボール・ロープ 1位	優 勝
(一 般)				
バレーボール	栗原 恵	パイオニアレッドウィングス	2010 女子バレーボール世界選手権	3 位
レスリング	尾形 翼	県レスリング協会	第58回全日本社会人レスリング選手権大会 グレコローマスタイル55kg級	優 勝

奨 励 賞

種 目	氏 名	所 属	主 な 成 績	
(一 般)				
新 体 操	友野 透	酒田RG	第18回全日本社会人新体操選手権大会 男子2部 個人総合	優 勝



これからの、可能性を信じ常に上を目指して挑戦しつづける「チーム山形」の高い志を応援するため、県体育協会はバックアップに努めていきます。



向上無限

山形県体育協会のスローガン「向上無限」の精神をTシャツやソックスの形に託して、各競技の監督・選手の皆様を激励してきた企画も今年で三年目となりました。

「チーム山形」として共に頑張ろうとの意識を一層強く持つてもらうために、東北総体の激励訪問時や国体の結団式で贈呈しました。

スポーツ基本法が制定されました

平成23年6月24日公布
平成23年8月24日施行

昭和36年に制定されたスポーツ振興法は、我が国のスポーツの発展に大きく貢献してきました。制定から50年が経過し、スポーツを巡る状況は大きく変化しています。

こうした状況を踏まえ成立した「スポーツ基本法」は、スポーツに関し基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めることにより、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与することを目的としています。

スポーツは世界共通の人類の文化である

スポーツ基本法の前文は、この言葉から始まります。

前文では、スポーツの価値や意義、スポーツの果たす役割の重要性が示されています。

- スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利
- 全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会を確保
- スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上。他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響
- スポーツは、人と人、地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成し、地域社会の再生に寄与。心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たし、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠
- スポーツ選手の不断の努力は、人間の可能性の極限を追求する有意義な営み。国際競技大会における日本人選手の活躍は、国民に誇りと喜び、夢と感動を与え、国民のスポーツへの関心を高める。これらを通じて、我が国社会に活力を生み出し、国民経済の発展に広く寄与
- スポーツの国際的な交流や貢献が、国際相互理解を促進し、国際平和に大きく貢献するなど、スポーツは、我が国の国際的地位の向上にも極めて重要な役割



スポーツ基本法の詳細につきましては、文部科学省のホームページをご覧ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kihonhou/index.htm

全国中学校体育大会・競泳



◆大久保琳太郎
(米沢四中)

100m 平泳ぎ 優勝
200m 平泳ぎ 優勝
国体少年男子 B100m 平泳ぎ 3位



◆西脇 怜奈
(鶴岡一中)

200m 背泳ぎ 優勝



◆長谷川 鼓
(鶴岡三中)

400m 自由形 優勝
200m 自由形 2位

他にJOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会でも県勢の活躍が見られ、女子200m背泳ぎ(13~14歳)で西脇怜奈選手が大会新で優勝。

男子(13~14歳)では、渡部太一選手が50m・100m・200m平泳ぎでの3冠を達成した。

全国中学校体育大会・カヌー



◆西川中学校カヌー一部 優勝

カヤックペア 三澤涼太・松田 廉
カヤックフォア 三澤涼太・松田 廉・眞壁 涼
白田隆之
カヤックシングル 三澤涼太

3年連続の全国制覇。今年度は三冠を勝ち取ることができ、部員一人一人が高い志を持って取り組んだ成果だと思っています。来年度は地元で全国大会が開催される予定です。一層練習に励んでいきますのでご声援よろしくお願ひします。

西川中 教諭 橋本 佳久

山形県の将来を担うジュニア選手の活躍

最近、ジュニア選手の躍進が目覚ましい。本県の小・中学生にも全国や世界大会を舞台に活躍する選手が増えてきている。将来の「チーム山形」を牽引する力にもつながる、いま輝いている選手たちを紹介したい。

第16回新化旗 全国中学校選抜剣道大会

◆山形四中男子剣道部
優勝

田内雄大・栗田一輝・松田祐典・柿崎有飛
矢田目清樹・入君綾人・安達 司

男子では東北初の優勝。最優秀選手に選ばれた田内主将を中心に自分たちで練習内容を考えるなど、チーム一丸となりつかんだ栄冠である。



第28回全日本エアロビック 選手権大会出場決定!



◆染谷 柚夏
(山形大附属中)

第28回全日本エアロビック
選手権大会 東北地区大会
AG2(14~16歳)
女子シングル部門 2位

エアロビック界では最高峰の第28回全日本エアロビック選手権大会全国大会出場。山形県人初の全国大会出場を決めた。

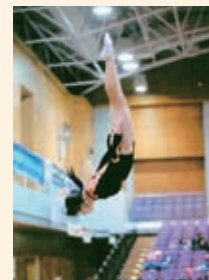
第21回世界年齢別大会出場決定!

第21回世界年齢別大会選考会 ダブルミニトランポリン競技



◆三浦 雪乃
(山形一中)

11~12歳女子 優勝
先生、友達、家族や多くの
方々に支えてもらってきた
ことに感謝し、本番は自分を
信じて自己ベストを出せる
ように頑張ります。



◆鈴木 楓
(山形十中)

13~14歳女子 優勝
今まで練習してきた成果を
出し切り、昨年の悔しさをバネ
にして、自分の中で一番の演
技を精一杯やっています。

◆忠鉢 怜香 (山形十中)



15~16歳女子 優勝
今回、国際大会に出場
できることに感謝し、
今までの練習を生かして、
一つひとつ丁寧に自分
らしい演技ができるよ
う頑張りたいです。

平成23年度 スポーツ功労者 (県体協関係)

◆旭日双光章

中村 弘 (県バレーボール協会前会長)

◆旭日小綬章

荒井 進 (県アイスホッケー連盟会長)

◆文部科学大臣表彰

(生涯スポーツ功労者)

色摩 安紘 米沢市体育協会会長
佐藤 孝子 県なぎなた連盟副会長
齋藤 孝子 若草スポーツクラブ前会長

(生涯スポーツ優良団体)

葉山剣道スポーツ少年団 金山スポーツ少年団

◆日本体育協会表彰

(公認スポーツ指導者)

鈴木喜久雄 山形市 水泳指導員
遠藤 啓一 寒河江市
ジュニアスポーツ指導員・アシスタントマネジャー
村田 孝子 山形市 バドミントン指導員

(公認スポーツドクター)

中條 明夫 米沢市 中條医院

◆日本体育協会・日本オリンピック委員会創立100周年記念事業功労者等表彰

(特別功労者) 桂木 公平

(功 労 者)

会田 忠秋 安部 新一 荒木 善行
板垣 英雄 伊藤 修二 遠藤栄次郎

大貫 義人 金山宏一郎 川田 昭子
後藤 成弥 齋藤 敏 三條 國雄
塩野 孝男 澁谷 忠昌 清野 伸昭
田内 隆 中村 弘 南波 勝夫
蜂屋 雅之 逸見 啓 星川 隆
細谷 順康 前田 直己 升川 修
山口 正己 山口 良典

◆東北総合体育大会功労者表彰

市川 和夫 県相撲連盟副会長・東北相撲連盟副会長

◆山形県教育功労者表彰

齋藤 成徳 県剣道連盟会長
後藤 成弥 県野球連盟会長

◆県体育協会功労賞 (平成22年度)

長沢 一好 (理事・現副会長)

◆県体育協会感謝状 (平成22年度)

会田 忠秋 (前理事) 井田 辰男 (前理事)
栗田 一直 (前理事) 寺沢 康三 (前理事)
中澤 健一 (前理事) 安達 忠陽 (前監事)
蜂屋 雅之 (前監事)

◆日本スポーツ少年団顕彰

(市町村スポーツ少年団表彰) 西川町スポーツ少年団
(指導者表彰)

遠藤 啓一 (寒河江市) 鈴木 実 (鶴岡市)
兵藤 清彦 (酒田市)

県体育協会の金森義弘会長と懇談した。金森会長は「競技力の向上にもつながる。」と期待を込めた。

大会は平成二十六年二月二十一日(金)から二十四日(月)までの四日間の日程で、山形市の蔵王温泉スキー場と上山市の上山・坊平高原クロスカントリー競技場を会場にアルペンの大回転、距離、ジャンプ、ノルディック複合の四種目を実施する予定。

本県での冬季国体スキー競技会の開催は、平成十六年の「山形もがみ国体」以来十年ぶり六度目となる。大会には選手、監督、観客ら延べ二万人が訪れる見込み。

第69回国民体育大会冬季大会 スキー競技会の開催が決定!

～日本体育協会が開催決定書を吉村知事に交付～

平成二十六年の第六十九回国民体育大会冬季大会スキー競技会を山形市と上市市で開くことが日本体育協会の理事会で承認されたことを受けて、日本体育協会と文部科学省から(七月二十二日)吉村知事に開催決定書が手渡された。吉村知事は「全国から訪れる方々に思い出深い大会となるよう県民挙げておもてなしをし、素晴らしい大会になるよう頑張りたい。」と意気込みを語った。

日本体育協会の岡崎助一専務理事と文部科学省スポーツ・青少年局の芦立訓練競技スポーツ課長が県庁を訪れ、岡崎専務理事は「開催地の選定が困難な中、スキー国体を引き受けていただいたてありがとうございます。」と感謝を述べ「県と連携しながらしっかりと取り組みたい」と話した。

両団体は引き続き県スポーツ会館を訪ね、



競技団体 ニュース

変化する時代への対応

山形県バスケットボール協会

会長 市川 昭 男

本協会は、昭和二十一年十二月に設立し、協会を運営されてきた数多くの先輩諸氏とプレーヤーに支えられながら今日に至っています。現在、五地区協会と七連盟で組織され、各種の大会を県協会・地区協会・連盟が連携に配慮しながら開催しています。さらに、協会内に総務・強化・審判・競技・報道部を設けており、バスケットボールの振興を図っています。

最近の目覚ましい活躍として、一昨年の新潟国体での総合優勝や今年の山口国体で県勢初の少年女子の準優勝、そして山形銀行・山形大学女子・山形商業高校女子が挙げられますが、これからも新しい時代に対応した「バスケットボール山形」を目指し、一貫指導体制をベースとして各カテゴリーの強化の充実を図っていかなくてはなりません。

バスケットボール界を取り巻く情勢は、経済状況の変化、少子化問題等で、困難さを伴う場面が増えてきていますが、様々な変化に対応し得る体制を整えながら、各種大会の開催や諸事業の展開に努めることが求められています。いつの時代も献身的な協会運営と熱意あふれる指導こそが、「バスケットボールに情熱を燃やすプレーヤー」を支え、時代を切り開いてきたと確信しています。

今後とも、関係各位の皆様のご指導、ご支援をお願い申し上げます。



クラブ 通信

私たちの町は、小さな国、元気な町づくりを目指します！

おぐにスポーツクラブ Yui

クラブマネージャー 藤 田 明 美

山形県の総面積の約八％、その約九十三％は森林野、人口約八、九〇〇人の小さな国（町）に、平成二十二年二月に設立したおぐにスポーツクラブ Yui。「人と人」「人と地域」「地域と地域を結ぶ」願いを込めて Yui（結ゆい）と名付け、様々な教室やイベントを開催し、町民の皆様へ「健康づくり、仲間づくり」を提供しています。少子高齢化が進み、町民が元気でなければ、町も元気にならないのではと、町体協各種団体、教育委員会を中心に、様々な角度からクラブ作りの方向性を検討しました。「やっぱり町を元気にするにはクラブが必要！」と、二年の準備期間を経て設立。ようやくクラブの存在、認知度が上がってきているかなと感じるこの頃です。小国町全地域を対象地区として立ち上がったクラブですので、使命は全町民を元気にする事。町民一人一教室一回の無料体験を実施しています。また、すべての教室は誰もが気軽に参加できるように、全戸配付を基本に広報活動にも力を入れていきます。六月には、様々な種目を体験するスポ少を立上げました。毎週土曜日に活動しています。迷ったり悩んだりもしますが、応援の声に感謝しながら、町民誰もが、心も身体も元気になるクラブ作りを目指します。



諦めずに向上無限！

水泳上級指導員 岡崎 郁子



小学四年生の夏、二十五m泳げた私は、それまで引つ込み
 思案で消極的だった自分が何事にも積極的に取り組めるよう
 になったことが水泳のお陰だと気付き、中学・高校・短大と
 水泳部に所属、その後スイミングクラブで二十六年間水泳指
 導に当たりました。

泳げるようになったことで自信をつけ色々なことに挑戦できる子供に育って欲
 しいと、公認指導者の資格を取得し、退職後も各プールで水泳を通して少しでも
 生きる力を身につけるサポートができればと指導を続けています。

また、平成六年に水球の小学生チームを立ち上げ、スポーツ少年団に加盟し、
 全国大会に出場しましたが、初戦敗退。全国のレベルを実感し「まずは一勝」と
 目標を確認。三年目で一勝、四年目で三位入賞、五年目で初優勝できました。

その後も、小・中学生ともに、目標に向かって諦めずに努力をすることが大事
 なこと、努力を続けられれば必ず良い結果が出ることを信じて、スタッフも一丸と
 なり向上し続けたいと思います。



町民一人一スポーツを目指して

大石田町体育協会

会長 矢作 善一

本協会は、昭和三十年に発足以来、町民の生涯スポーツの振興を図るため、「町
 民一人一スポーツ」をスローガンに、町内スポーツ団体と連携しながら各種体育
 事業を推進しております。

現在は、十一団体が本協会に加盟しており、それぞれの団体が主体的に活動を
 行っております。

本協会が主催している事業は、年間十事業ほどあります。その中でも今年度で
 十七回を数える「最上川ふれあいマラソン大会」は県内外各地から多くの方が訪
 れます。

この大会は、新緑の映える最上川沿いのコースを、家族や友人と和やかに走っ
 てもらふことを目的としており、大石田町の恒例行事となりました。

現在の少子高齢社会は、本町も例外ではなく、今後のスポーツ振興に大きな課
 題となっております。

今後は、今まで以上に町内スポーツ団体との連携を強化し、人材の育成、魅力
 あるスポーツイベントの開催を通して、町民生活の中に自然とスポーツが存在す
 るような環境づくりを担えるよう、取り組んでいきます。



平成23年度 役員・賛助会員

山形県体育協会は、「スポーツを通して、健康で明るく活力に満ちた山形県づくりに貢献する」ことを活動の柱としています。スポーツを応援する個人・法人の皆さまからの深いご理解とご支援により、事業を推進しています。

《協会役員》

金森 義弘	遠藤 啓司	長沢 一好	早坂 孝	前田 直己	神尾 芳昭	井上 順男
大貫 義人	大場 正仁	小川 潔	小山 寛	木村 文浩	後藤 成弥	齋藤 武司
坂田喜一郎	佐藤 庄一	佐藤 通隆	塩野 孝男	色摩 安紘	柴田 俊弥	澁谷 忠昌
菅原 和敏	鈴木喜代壽	鈴木 漠	清野 伸昭	高橋 政美	月野 隆	富田 政利
中村 直資	南波 勝夫	沼澤 宏	山口 良典	山本 益生	吉田 芳弘	三浦 繁則
山口 正己	渡辺 均					

(敬称略)

《賛助会員 -個人-》

登坂 光雄	新野 晃敏	金山宏一郎	中村 弘	前田 直己	会田 忠秋	塩野 孝男
山口 正己	山本 益生					

《賛助会員 -法人-》

ネットトヨタ山形株式会社	株式会社 県庁食堂	山形オザキ株式会社
遠藤商事株式会社	株式会社 山形環境 荒正	タカミヤホテルグループ
(社)山形県建設業協会	株式会社 大風印刷	協同組合山形給食センター
(社)山形県銀行協会	たんの文具 代表 丹野 秀美	山形酸素株式会社
村尾旅館	エイムカイワ株式会社	株式会社 でん六
株式会社 山形グランドホテル	トップツアー株式会社 山形支店	渋谷建設株式会社
ミズノ株式会社 仙台営業所	株式会社 葉山館	山形パナソニック株式会社
株式会社 メコム	株式会社 東照電気	株式会社 キコスミ産研
アシックス東北販売株式会社	株式会社 かわでん	スズキハイテック株式会社
株式会社 天童木工	株式会社 曙印刷	山形県弓道連盟
東京海上日動火災保険株式会社	有限会社 パソコンサポート山形	株式会社 カスカワスポーツ
株式会社 JTB東北 山形支店	ヨネックス株式会社 仙台営業所	有限会社 アートエッグ
ゆうき整形外科	ヤマコーリゾート株式会社	山形県信用金庫協会
株式会社 協栄給食	山形資源株式会社	山形県信用組合協会
東北パイオニア株式会社	山形県スポーツ用品小売商業協同組合	(社)山形県スポーツ振興21世紀協会
株式会社 小澤商店	株式会社 シベール	(社)山形県林業コンサルタンツ
大塚製菓株式会社	東北電化工業株式会社	

東京圏東部でアパートを借りる際は当社へどうぞ!

東京駅から40分、総武線東船橋駅前 (有)東船橋不動産

千葉県船橋市・創業34年

TEL 047-424-7200 <http://www.chintai-center.co.jp> 水・木曜定休

大江町出身
鈴木 隆



傷害保険 賠償責任保険 共済見舞金

スポーツ 安全保険

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。 [Web](#) スポーツ安全協会 検索

財団法人 スポーツ安全協会 山形県支部
(山形県体育協会内)

〒990-2412 山形市松山2丁目11番30号 TEL 023-642-8321 電話受付時間午前9時～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受け付けております。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社 (担当課 公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133 (平日9:00~17:00)
【お問い合わせ先】(平成22年4月実施) ※年々変更となる場合があります。
あいおい損害 共済火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動
火災 日新火災 ニッセイ損害 日本興業損害 富士火災 三井住友海上
平成21年12月作成 13104-2427

5+
5名以上の団体で
ご加入ください